



金山町職業体験学習

プロジェクトK

～金山の未来の担い手育成プロジェクト～



▼協力事業所

新庄警察署、特別養護老人ホーム「みすぎ荘」、株式会社荘内銀行金山支店、新庄徳洲会病院、株式会社大商金山牧場米の娘家、金山コネクタ株式会社、金山ケミテック株式会社、新庄最上建設総合組合金山支部、農事組合法人いすえむ、最上広域消防本部金山支署、星川建設株式会社、白岩土木建築株式会社、金山農業協同組合、金山町森林組合（14事業所）

「働く」をもっと身近に
地元金山で活躍している企業や技術者の方々の姿に触れ、地域の良さを再発見してもらおう。そんな目的で今年から始動した『プロジェクトK』。総合的な学習の時間を利用して、金山中2年生と新庄南高金山校1年生が、地域に密着した様々な仕事を体験しました。

プロジェクトに参加した事業所は14。会場となった金山中学校には、屋内外に15ブースが設置されました。生徒たちは5、6人の班に分かれ、1回あたり50分を2セット体験。班の編成にあたっては、あえて生徒たちの希望は聞かずに、機械的に選んだそう。その理由について、金山中の鈴木校長は「興味の異なる分野が異なる生徒たちを組み

地元定着の促進へ

合わせることで、新しい道が開かれるきっかけになるかもしれない」と話していました。

金山を代表する産業と言えば、やはり農林業や付随する建築関連業。職人と呼ばれる職種が多いことも特徴のひとつです。新庄最上建設総合組合金山支部のブースでは、鉋かけや左官作業を体験。苦戦しながらも、熱心に取り組んでいる様子が印象的でした。体験は少しの間でしたが、金山職人の魂が生徒たちに注ぎ込まれたものと思います。

実はこのプロジェクトK、今年度に金山中に着任された鈴木校長が仕掛け人。「教師は教えることはできるが、本物を見せることはできない。その道のプロフェッショナルと一緒に地域に根付いた仕事を体験することは大きな意義がある」と力強く話します。この取り組みが、若者たちが地元金山へ定着する一助となることを願います。

